

CMSC愛知 松井孝夫  
全日本ラリー第3戦Bクラス優勝記



念願の全日本初勝利の松井選手(左)。

全日本ラリー第3戦「春一番MCA BARU'97」は大分県湯布院町の山下湖を中心として3月22～23日に開催されました。ラリーの構成は2ステージ制でそれぞれダートステージ(オールダート、S S約10km)、ターマックスステージ(オールターマックス、S S約40km)と明確に分けられており、全日本戦としては非常に珍しいターマックスS Sを主体としたラリーです。

ターマックスラリーが非常に多いことで有名なD E地区(中部、近畿地区)で育ったターマックスが大好きな私は、第1ステージはそこそこ抑えて自分のペースを掴み、ターマックス中心の第2ステージに勝負をかける作戦を立てました。今シーズン初めてのドライイベントである事と、地元

# 作戦通りで全日本ラリー初勝利



九州のスペシャリストが非常に速いという事前情報により、不安は隠せませんでしたが、これから本格的に始まる長いシーズン全体を考え「少くらしいタイムが悪くても気にせずとにかく完走するのだ」と自分に言い聞かせ、ラリーをスタートしました。

ダート中心の第1ステージ。抑え気味の私は平凡なタイムでしたが上位陣は差がつかず、10秒に10台がひしめく大混戦となり、私はトップと7秒差の5位タイ。第2ステージに勝負をかける作戦通りの展開に、私は気を良くして第2ステージに臨むことが出来ました。

オールターマックスの第2ステージでは、徐々にトップとの差を詰めていき、勝負どころの10kmに及ぶロングS Sで

のベストタイムによりトップに並びました。その時点で勝負は私を含めた3チームに絞られていました。ほぼ同減点で迎えた最終の2つのS Sで私は連続ベストタイムを出し、その結果、念願の全日本初勝利を飾ることが出来ました。

今回の勝因は、作戦通りにラリーを進めることが出来た事がまず挙げられますが、それ以上に、未熟な私にラリーに臨む姿勢をいつもご教授して下さっている諸先輩方のお陰であると思います。それらの諸先輩方やCMSC愛知を始めいつもお世話になっている関係者の方々に喜んでいただけたことが一番嬉しく思え、今後はそれを糧にしてこれまで以上に頑張っていきたいと思えます。

CMSC鹿児島 原口 真  
全日本ラリー第4戦Bクラス優勝記



激戦を制した原口選手。

今年のBクラスは4月19～20日開催の第4戦「ACKスプリングラリー」まで勝者が毎回違っており、激戦が続いています。今回は私自身、初ウイナーとなりシリーズ2位で、1位に8点差となりました。前回、地元九州で本州勢に上位を独占されましたが、今回、またもや九州・大分県で、面目をやっと保ちました。

さて、ラリーは序盤のサーキットステージから始まりました。SS1、ジムカーナコース。前日の練習を頭に描き走り始めました。テクニカルセッションは前日通りで「よしくぞ」。3速からのシケインを前日より速いスピードで走り抜ける。調子は上々と思った次の右カーブをオーバーラン。ダートを50mほど走ってしまいました。調子が良いときは

# 激戦クラスの今後の行方は…



ど落とし穴があるものです。トップと4秒差。先はまだ長い。ダートステージまで我慢。SS3でやっとトップタイムが出ました。SS5までのサーキットステージを、トップCMSC愛知・松井選手に14秒差で6位。「さあ、これから追い上げだ」。

阿部田隊長をはじめ地元サービス員の声援を受けロード第1ステージへ。最初のダートセッション、中川内林道52km/hのハイアベヒとつで一気に追い付きトップに並びました。後は逃げるだけと思って回りを見ると、CMSC帯広・小林選手がついて来ています。今年小林選手は一皮むけて速い。トータルではトップが私、続いて4秒差で小林選手、松井選手が3位。

勝負どころの第2ステージ。ここからは小林選手との一騎打ちとなりました。始めのSSは同秒。次のロングで離すはずが1秒負け。これで3秒差。次は2秒負けて1秒差。「あっちー尻に火がついた」。後はもう全開で行くしかない。結果、トップをキープしてラリーは終了。「よかった、よかった」。小林選手はラリー区間で15点減点をくらってしまい、しぶといCMSC道北・鎌田選手に抜かれ3位となりました。今回はトップ3をファルケンが独占し戦いは終わりました。これでシリーズは混戦となり解らなくなりました。最終のハイランドマスターズまで、きっとつれるでしょう。最後まであきらめずがんばるぞ。



## CMSC群馬 岩田恒廣 群馬三菱自販・最優秀営業マン受賞

入社して24年目にして、初めて最優秀セールスマンになることが出来ました。これは今思うと、ギャランに出会えたのがきっかけのようです。

休日も取らずただ車が売りたいと働き、夜はスナックで一杯のストレス解消、そんな日々が続いていました。そんな時ギャランが発表されモータースポーツにチャレンジしたのです。それで私は日曜日には必ず競技会にエントリーしたいと思い、ユーザーとの約束をしっかりと取り付ける等、今までは余り気にかけていなかった日程をきちんと立てるようになりました。仕事にメリハリを持たせるようになると、お客様の反応も良く感じられ、車のメンテナンスの時間も作れるようになりました。

そして競技会でもだんだん上位に入る事が出来るよう

# モータースポーツとの出会いが転機に

になると優勝に憧れるようになり、エポリューションに変えました。仕事も前よりも集中して取り組める様になり、自分なりに仕事・全日本戦・地区戦全てに全力でぶつかっていきました。その甲斐があって最優秀セールスマンにもなれました。その陰で協力してくれた営業所の皆さんと家族に感謝しております。

そのご褒美にと、家族で7月4日アメリカ独立記念日に行われるバイクスピークヒルクライム75回大会に、今回2度目のチャレンジをする事にしました。車はランサーRSエポリューションⅣ。参加クラスはバイクスピークオープン。カラーリングはラリーアート様の協力でラリーアートカラー。トミ・マキネンかと思わせる仕上がりです。エキゾースト音もWRCを思わせる響きで、バイク山4,300mのゴール迄全開で走ります。良い結果を皆さんにお伝えできるよう頑張ります。



バイクスピーク2回目の参戦となる岩田選手とエポⅣ。

## CMSC栃木 5月11日

### '97スリーダイヤモンドジムカーナ

五月晴れと呼ぶにふさわしい絶好の天候のもと、日光スピードパークにおいて'97スリーダイヤモンド・ジムカーナを開催しました。毎年この時期に栃木県ジムカーナシリーズの第3戦として当クラブが主催しているもので、毎回少ないパイロンを使って思い切り走らせる設定で好評なイベントです。今回もその例に漏れず、シンプルなコースレイアウトで、エントラントには運転に専念してもらえる心がけました。そのためかミスコースはたった1台だけ。参加台数は71台と昨年より10台以上も減少し、少し寂しいものでしたが、競技の方はコースが単純なだけにタイムアップのポイントが絞られず、0.1秒を争う白熱したものとりました。

また競技とは直接関係ありませんが、今回初の試みとしてアイスクリームの移動販売車を競技会場に呼んでエントラントに無料で提供しました。これは当日の天候に大きく左右されますが今回はまさにぴったりの企画だったようで、大変好評でした。

最近では新たにモータースポーツを始める人が少なくなっているようで、初心者向けの競技会は参加者確保に苦労しているようです。昨年まで参加していた人達も、より

# おなじみの好評イベント

▶左からランサー賞1位吉葉、2位下谷、3位吉原の各選手。▼下谷選手の走り。



左からミラージュ賞1位小祝、2位堀、3位池田の各選手。

上のクラスの競技会にステップアップして底辺のイベント参加者の減少に拍車をかけています。何か良い知恵はないでしょうか。ともあれ、成功裏に終了したジムカーナでした。(CMSC栃木 町田俊英)

## '97CMSC全国大会



全国大会が、下記の通り開催されます。ふるってご参加下さい。

詳しくは各支部事務局へ。

参加申込締切り 7月25日(金)

記

日時：8月23日(土)当日泊  
場所：福島県二本松市東北サファリパーク内ジムカーナ(南)コース  
内容：ジムカーナ競技(クラブ対抗、個人対抗) 表彰式、幹部会議、懇親会

# 福島首位発進。広島、青森も好スタート。

## '97チャレンジカップ

前年度3位に追いついた福島が今年度はスタートから飛ばしています。広島、青森もダッシュがきているようで、

今年は激戦が予想されます。部門別でも白熱した争いを期待しています。ゴール目指して頑張らしましょう。

### ●クラブ別獲得ポイント

	1~5月	6~8月	9~11月	12月	合計
福島	820				
広島	612				
青森	577				
大阪	512.5				
山形	450				
群馬	441				
道北	421				
札幌	381				
帯広	378				
香川	319				
浜松	307				
栃木	204				
岐阜	182				
埼玉	98				
島根	79				
仙台	64				
愛知	34				
岩手	30				
千葉	0				
鹿児島	0				
秋田	0				

### ●ラリー・ドライバー部門

小林康弘	帯広	106
奴田原文雄	札幌	100
鎌田 豊	道北	73
菅野正之	浜松	69
鷹野健太郎	道北	50
杉山 聡	道北	46
中島 律	広島	40
田口幸宏	埼玉	34
豊嶋郁雄	道北	28
福島徳也	浜松	22

### ●ラリー・ナビゲーター部門

中村 洋次	帯広	76
川村知恵	道北	65
野村佐江子	広島	40
生井重男	帯広	38
朝岡達也	愛知	34
本島正和	浜松	22
横山 浩	札幌	15
本田辰彦	岐阜	15
内藤修一	道北	11

### ●ダートトライアル部門

秋間忠之	大阪	300
小川 進	福島	186
湯本 敬	山形	180
小出久美子	大阪	169
荒井信介	群馬	156
河内 涉	広島	150
谷口浩二	札幌	150
赤羽政幸	山形	137
大泉 剛	福島	127
笠原章央	群馬	126

### ●ジムカーナ部門

宇野慶一	青森	170
丹羽裕一	道北	140
久保田明	青森	96
小館 久	青森	84
佐藤義隆	福島	72
工藤裕史	青森	70
江上逸人	栃木	46
三崎朋弘	帯広	40
高野 聡	福島	36
下谷光俊	栃木	31

### ●レース部門

添田 正	栃木	68
高橋しげる	仙台	64
内堀篤史	栃木	42
川口法行	栃木	16
丸山 晃	浜松	2
藤井 優	浜松	2

### ●ポイントのつけ方

ポイント	順位										リタイア	
	1位	2位	3位	4位	5位	6位	7位	8位	9位	10位		
A	40	30	24	20	16	12	10	8	6	4	2	1
B	20	15	12	10	8	6	5	4	3	2	1	0.5

リタイアには予選不通過も含む

A = 全日本選手権(含む、レディースクラス)、地方選手権(除く、レディースクラス) 但し、ダートトライアルにはオールスターダートトライアル ジムカーナにはJAF CUPジムカーナ レースにはミラージュカップ、NI耐久レースを含む B = それ以外の競技会